



12/11 みんなの想いをタスキに！

12/7 火災からまちを守るために



消防長が清水屋小牧店で立入検査を行いました。これは、消防長自らが立入検査を実施することにより、来場者への防火広報とともに、火災予防の意識を高めることを目的としています。

立入検査では消防長らが火災警報器やスプリンクラー、非常階段などの避難経路に問題がないかを検査し、立ち会った店長らと非常時の対応の確認を行いました。



第41回市民駅伝競走大会がパークアリーナ小牧で開催されました。

今年は、67チームがタスキをつないで市内を走り抜けました。競技中のコース沿道では、観客が選手を応援し、ゴール付近では拍手で温かく選手を迎えていました。

1位でゴールした平野 旭太郎しゅうたろうさんは、「メンバーに支えられ、心強く走ることができた。タスキをもらった時から1位だったので、そのままゴールすることができホッとしている」と話しました。

12/13 食品ロスの削減を目指して



食育推進に貢献するため、コロナ禍で行き場をなくした「国産くるまえび」が市内中学校の給食に無償で提供されました。次世代を担う子どものために、(公財)日本財団が実施する「海と日本プロジェクト」の一環として、(一社)日本海老協会より、国産くるまえび約4,700人分を無償で提供いただきました。

12/16 歴史とともに新しいチャレンジを



市民会館で「市立寿学園創立60周年大会」が行われ、約220人が参加しました。

寿学園は、昭和36年、教養の向上と心身の健康増進を目的に始まりました。本来は昨年が60周年でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったため、今年大会を開催しました。